



報道関係各位

『NFL スーパー・リージョナル・コンバイン 2012』**現地 3 月 29 日(木)～31 日(土)、ミシガン州デトロイトに於いて開催****NFL ジャパン指定選手からキッカー櫻井 義孝が選出！！**

現地時間 3 月 29 日(木)から 31 日(土)の 3 日間の日程で、米国ミシガン州デトロイトにある NFL デトロイト・ライオンズの本拠地フォード・フィールドに於いて開催される『NFL スーパー・リージョナル・コンバイン 2012』へ、NFL ジャパン指定選手 6 名の中から、キッカー櫻井 義孝(23 歳、アサヒビールシルバースター:中央大学出身)選手が選出されました。

櫻井選手が参加するキッカー対象のスーパー・リージョナル・コンバインは、29 日(木)に行われる予定となっており、櫻井選手は 27 日(火)、日本から現地デトロイトへ向けて出発する予定です。

NFL スーパー・リージョナル・コンバインには、例年、多くの NFL 各チームのスカウト陣も来場するため、この日のパフォーマンスが彼らの目に留まれば、4 月末に開催される NFL ドラフトでの指名、NFL 各チームが主催するミニキャンプ(5、6 月ごろ)やトレーニングキャンプ(7 月末)への招集など、日本人初の NFL 選手誕生へ向け、可能性が広がります。

櫻井選手は、2 月 25 日(土)、26 日(日)、同ニュージャージー州フローラムパークにある NFL ニューヨーク・ジェッツのチーム施設に於いて開催された『NFL リージョナル・コンバイン 2012』に参加し、フィールドゴールのフットボールテストでは最長の 55 ヤードを外したのみの 5 本中 4 本(35、40、45、50 ヤード)を成功。

また、キックオフのテストでも、左、真ん中、右方向へそれぞれ 64 ヤード(滞空時間:4 秒 03)、62 ヤード(滞空時間:4 秒 19)、59 ヤード(滞空時間:3 秒 99)を記録させるなど、安定した成績を残しました。NFL リージョナル・コンバインの前身であるエリート・コンバインでは、飛距離 62～67 ヤード、滞空時間 3.85～4.05 秒がキックオフの参考基準記録となっていました。

なお、ジェッツのチーム施設で行われた NFL リージョナル・コンバインには、櫻井選手をはじめ、QB 井上 友綱(25 歳、早稲田大学卒)選手、RB 末吉 智一(22 歳、早稲田大学 4 年)選手、OL 野田 健仁(25 歳、アサヒ飲料チャレンジャーズ)選手、K 佐伯 栄太(24 歳、パナソニックインパルス)選手、K 丸田 喬仁(23 歳、アサヒビールシルバースター)選手ら NFL ジャパン・コンバイン 2012 合格選手＝NFL ジャパン指定選手 6 名に加え、自費で参加した WR 栗原 嵩(24 歳、パナソニックインパルス)選手の、計 7 名の日本人選手が参加しました。

■ NFL ジャパン・コンバインとは

1月15日(日)、2008年1月以来、およそ4年ぶりに日本で開催された **NFL を目指す日本人選手を対象とした合同テスト会『NFL ジャパン・コンバイン 2012』**には、総勢41名の選手が受験しました。過去の招待制のコンバインとは違い、一般公募となったNFL ジャパン・コンバインには、**「サッカー」リーグ経験者がキッカーに挑戦**するなど、他のスポーツからのアスリートにも門戸が開かれました。

コンバイン参加選手の審査には、このために来日したNFLチームでも長年スカウト経験を持つ2名の米国人スカウトがあたり、コンバインでの身体測定、フィジカルテスト、フットボールテスト、および将来性などの総合的な観点から、米国ニュージャージー州フローラムパークにあるNFL ニューヨーク・ジェッツのトレーニング施設に於いて開催される『NFL リージョナル・コンバイン 2012』へ参加する6名の選手を選考しました。

NFL ジャパン・コンバイン合格選手は、**「NFL ジャパン指定選手」**として、審査にあたったNFLスカウトの推薦、およびNFLジャパンの全額負担(参加費、渡航費、宿泊費など)により、NFL リージョナル・コンバインに参加でき、さらにNFL リージョナル・コンバインでも優秀な成績を残し、次のステップであるNFL スーパー・リージョナル・コンバインへ駒を進めた場合も同様のサポートを受ける権利を得ます。

NFL ジャパン・コンバイン合格選手6名のポジションの内訳は、QB1名、RB1名、OL1名、K3名となっており、特に**日本人キッカーがNFLスカウトから高い評価を得た**ことが、今回のコンバインの大きな特徴となりました。なお、1991年から途中2年間の中断を挟み2007年まで続いたNFLの下部組織NFLヨーロッパリーグに挑んだ日本人選手は過去に32名いましたが、Kでの参加選手はゼロでした。

■ NFL リージョナル・コンバイン／スーパー・リージョナル・コンバインとは

NFL リージョナル・コンバイン(旧総称: NFL エリート・コンバイン)は、毎年2月末に全米各地から大学トップ選手を招待して行われるNFLの**「スカウティング・コンバインへ招待されない選手を対象」**に、これらの選手の中からプロのポテンシャルを持つ選手を逃さず発掘するスカウティング・サービスで、現在、無名校出身の米国人選手や、日本人選手を含めた外国人選手にとっては、重要なNFLへの登竜門となっています。

NFL リージョナル・コンバインでは、NFLスカウティング・コンバインと同じ測定種目やポジション別ドリルを採用し、評価を行なっています。参加選手たちの結果は、動画や写真、連絡先情報とともにオンラインのデータベースに登録され、NFL32チームをもちろん、CFL、AFL、af2など多くのプロチームからもアクセスが可能となります。

NFL リージョナル・コンバインは、米国各地で一般公募(有料)の形式で実施される『**リージョナル・コンバイン**』と、そのリージョナル・コンバインでの身体測定、フィジカルテスト、ポジション毎にドリルを行うフットボールテストの結果に基づいて、選手たちを招待して実施する『**スーパー・リージョナル・コンバイン**』の2つのステップに分かれており、特にスーパー・リージョナル・コンバインにはNFLチームからも多くのスカウトが来場するため、NFLを目指す選手にとっては直接スカウトたちにアピールすることができる絶好の場となっています。

1988年に創設された前身のエリート・コンバイン時代を含め、NFLリージョナル・コンバインを経てNFL、CFL、AFL、af2などのプロチームとの契約を勝ち取った選手の数は、これまでに2,600人を超えます。プロボウルに過去4度選出の元ニューオーリンズ・セインツ**WR ジョー・ホーン**、同じくプロボウルに過去2度選出の現インディアナポリス・コルツ**K アダム・ピナティエリ**などもこのコンバインを経てNFLのスターダムへ駆け上がっていきました。

新たにNFLが主催となった昨年のコンバインからは、1名が今年4月に行われたNFL2011ドラフトで指名を受け、他に18名がドラフト外ながらフリーエージェント選手としてNFLチームとの契約を勝ち取りました。そしてその19名のうち、ニューオーリンズ・セインツからドラフト7巡目(全体243位)で指名を受けた**LB ネイト・ブセイ**(NCAA1部イリノイ大学)がプラクティス・スクワッドとして、ヒューストン・テキサズにドラフト外で入団した**OLB プライアン・プラマン**(NCAA2部ウェスト・テキサスA&M大学)はアクティブ・ロースターとして、NFL2011シーズンを過ごしました。

なお、昨年2011シーズンのリージョナル・コンバインには日本から12名の選手が参加。そのうち**WR 秋山 武史選手**(富士通フロンティアーズ)、**QB 井上 友綱選手**(元早稲田大学ビッグベアーズ)、**K 西村 豪哲選手**(富士通フロンティアーズ)の3名がスーパー・リージョナル・コンバイン(旧称: エリート・ナショナル・コンバイン)まで駒を進めました。